



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 理 経
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 猪 坂 哲
(コード番号 8 2 2 6 東証第二部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 役 員 室 長 山 岸 行 人
(TEL. 03 - 3345 - 2199)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ (2017 年 3 月期～2019 年 3 月期)

2017 年 3 月期から 2019 年 3 月期までの 3 年間を対象期間として推進してきました中期経営計画〔平成 28 年 5 月 23 日付「理経グループ中期経営計画（2017 年 3 月期～2019 年 3 月期）について」において開示〕につき、2019 年 3 月期の事業環境を鑑み、経営の基本方針の一部を見直すことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

当社グループは、中期経営計画（2017 年 3 月期～2019 年 3 月期）に基づき、2019 年 3 月期において連結売上高 81 億円、営業利益 1 億円を達成することを目標としておりましたが、昨年 10 月に株式会社エアロパートナーズを子会社化したことに伴い、売上高の目標数値は当初計画を上回る見込みとなりました。

(単位:百万円)	2017 年 3 月期		2018 年 3 月期		2019 年 3 月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	目標
売上高	7,300	6,505	7,300	7,978	8,100	9,500
営業利益	70	67	70	△174	100	100

一方、本日開示致しましたように、2018 年 3 月期の業績は、システムソリューションにおける中央省庁向けシステム更新の大型案件のため売上高が増加致しましたが、利益率の高いネットワークソリューションにおいて映像配信案件の減少及び衛星通信案件の予算執行の遅れ、並びに、防災情報分野での Jアラート受信機の補正予算による更新実施時期の遅れにより、利益面では遺憾ながら損失を計上することとなりました。

当社は株主への利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付けておりますので、今後につきましては、早急に利益面での業績を回復し、長期的、安定的な配当を維持できることを目指して努力する所存でございます。

※上記の業績の予想につきましては、本資料の発表時現在で入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上